

アコマ回路切換コック

【警告】

使用上の注意

- (1) 漏れがないよう、確実に接続すること。
- (2) 使用中は閉塞を起こさないよう、常に監視すること。
[重篤な有害事象を生ずる可能性がある]

【禁忌・禁止】

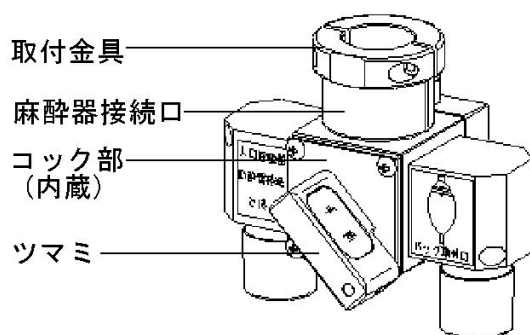
併用医療機器

- (1) 当社製アコマ麻酔器 F O - 2 0 S 以外には使用しないこと。
- (2) 以下の製品とは併用しないこと。
 - ・ 確実な接続状態を維持できないもの。
 - ・ 接続により閉塞を起こすもの。
 - ・ 離脱が困難なもの。

使用方法

分解や改造をしないこと。

**【形状・構造及び原理等】



形状

寸法：99(幅)×79.5(奥行き)×89(高さ) mm (突起部を除く)

人工呼吸器接続口：22M/15F

呼吸バッグ接続口：22M/15F

構造・構成ユニット

麻酔器接続部、人工呼吸器接続口、呼吸バッグ接続口及びコック部で構成されている。

原理

アコマ麻酔器 F O - 2 0 S に取り付けることにより、麻酔器の呼吸回路を自動(人工呼吸器)回路及び手動(呼吸バッグ)回路にワンアクションで切り換えることができる。

手動にすると、麻酔器は患者・呼吸回路(蛇管・キャニスターなど)・呼吸バッグの循環回路が形成され、手動呼吸回路となる。

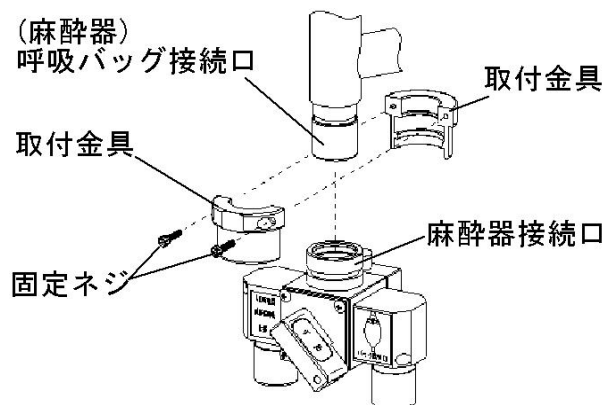
また自動にすると、麻酔器は患者・呼吸回路(蛇管・キャニスターなど)・人工呼吸器の循環回路が形成され、自動呼吸回路となる。

**【使用目的又は効果】

使用目的

アコマ麻酔器 F O - 2 0 S に取り付け、麻酔器の呼吸回路を自動(人工呼吸器)回路及び手動(呼吸バッグ)回路に切り換えることを目的とする。

**【使用方法等】



組立方法

- (1) 取り付け用工具として、六角レンチ(サイズ 2.5)を用意する。
- (2) 回路切換コックの麻酔器接続口に仮止めされている取付金具の固定ネジを、六角レンチで緩めて取り外す。
- (3) アコマ麻酔器 F O - 2 0 S の呼吸バッグ接続口から、呼吸バッグを取り外す。
- (4) 回路切換コックの麻酔器接続口を、麻酔器の呼吸バッグ接続口へ確実に差し込む。
- (5) 前記(2)で外した 2 個の取付金具を合わせ、六角レンチで固定ネジを確実に締めて取り付ける。このとき取付金具は、麻酔器の呼吸バッグ接続口と回路切換コックの麻酔器接続口とを両側から挟み込むようにしてネジ止める。
- (6) 回路切換コックに貼られているシールに従い、自動側にベンチレータ蛇管、手動側に呼吸バッグを接続する。

使用方法

(1) 動作確認

- 1) ツマミに緩みがないことを確認する。
- 2) ツマミが確実に自動⇄手動に切り換わることを確認する。

(2) 操作方法

- 1) 麻酔器を手動呼吸で使用する場合
ツマミを手動に切り換える。(ツマミの手動シールが上になるようにする)
- 2) 麻酔器を自動呼吸で使用する場合
ツマミを自動に切り換える。(ツマミの自動シールが上になるようにする)

(3) 使用環境条件

- ・ 周囲温度：10-40℃
- ・ 相対湿度：30-75%
- ・ 気圧：700-1060 hPa

再使用のために必要な処置

本体の汚れた部分は、希釈したアルコールや消毒液などで拭く。(アルコールや消毒液などの使用方法は、専用の添付文書などを良く読む)

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- (1) 故障したらその旨を明確に表示し、速やかに修理を受ける。
- (2) 落下防止のため、取付金具で確実に固定する。
- (3) 性能維持のため、定期点検／オーバーホールを受ける。
(定期点検／オーバーホールは、取り付けした麻酔器と同時に受ける)

使用方法

- (1) 異常時には速やかに使用を中止する。
- (2) ツマミは、確実に自動または手動の定位置に切り換える。

****【保管方法及び有効期間等】**

保管方法

保管

- (1) 水のかからない場所に保管する。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する。
- (3) 傾斜、振動、衝撃などのない、安定した場所に保管する。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない。

環境条件

- (1) 周囲温度：0-50℃
- (2) 相対湿度：10-98%（結露なし）
- (3) 気圧：700-1060 hPa

耐用期間

10 年〔自己認証（当社データ）による〕（正規の定期点検／オーバーホールを実施した場合）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

清掃／洗浄及び消毒／滅菌

- (1) オートクレーブ、EOG 滅菌は不可。
- (2) 液体に浸すような洗浄はしない。
- (3) 本体の汚れた部分は、希釈したアルコールや消毒液などで拭く。（アルコールや消毒液などの使用方法は、専用の添付文書などを良く読む）

日常の点検

使用前に動作確認を実施する。

業者による保守点検事項

定期点検／オーバーホール

取り付けた麻酔器と同時に受ける。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

*

製造販売業者及び製造業者の名称

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時も同様）

<https://www.acoma.com>